

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
2	2	町内のサロン(自治会型デイ)への職員派遣の機会を利用して、入所者と地域住民との交流機会を深める。	入居者全員に自治会型デイへの参加をすすめ、入居者と地域との交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 入居者様に自治会型デイ(サロン)の活動を紹介する機会を持つ。 民生委員や福祉委員などの訪所をお願いする。 地域からもご案内を頂く。 	6月ごろから活動していく
1	10	日々の介護記録を工夫し、より良い介護支援計画が作成できる体制をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 介護計画と連動した個別支援計画を作り、個別ケアに基づいた介護記録を継続し、介護計画に反映することにより、質の高いサービスを提供する。 介護計画に記載されていることが適切に行われるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> カンファレンスにより、利用者一人ひとりの個別ケア支援計画を作成する。個別ケアに沿った介護記録をする。 個別ケアは定期的に見直す。 個別ケアは2, 3項目とし、見直しにより更新する。 日々の記録は、個別ケアについて必ず記載する。 	4月より
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。